

環境研究総合推進費令和 7 年度事後評価個票

研究課題番号	5-2202
研究課題名	特定海域の栄養塩類管理に向けた評価手法開発
研究実施期間	2022 年度～2024 年度
研究代表機関名	広島大学
研究代表者名	西嶋 渉

1．評価結果

評価ランク：A

2．委員の指摘及び提言概要

「栄養塩類管理制度の導入に貢献できる自治体で利用可能な汎用的な評価手法の開発」という目標はほぼ達成されている。流入水の混合によってその水質が決定されるという EMMA 手法が、今回の対象海域の水質予測に応用できることが明らかとなった。アンモニアセンサーの開発、ドローン空撮による広域クロロフィル a マップ作成などの定量モニタリング手法は、今後の活用が期待できる。学術的にも政策的にも非常に高い価値を持ち、社会実装に向けた工夫も多く見られる。能動的運転管理による栄養塩供給の効果や副作用についてのさらなる説明が期待され、影響評価モデルについては他の海域での適用実績を積み自治体担当者が活用できるように改良されることを期待する。